

# 株主の皆さまへ 第62期中間報告書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)



FSC認証紙を使用しております。

環境に配慮した植物油インキを使用しています。



セキ株式会社

銘柄コード 7857

<http://www.seki.co.jp>

当社は紙の加工流通過程での責任ある森林管理認証紙を  
推奨しています。



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援とご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第62期第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)における当社グループの事業の概況と決算につきまして、ご報告申し上げます。

平成22年11月

取締役社長 関 啓 三

## 経営方針

### 顧客志向・時代対応・人間尊重

セキは  
情報クリエイティブ企業として  
お客様の情報発信を  
サポートしてまいります。

## 1 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績の改善が牽引となり、緩やかな回復基調にあるものの、厳しい雇用環境やデフレ状況は依然続いており、海外経済の減速懸念や長期化する円高の影響など、先行きの不透明感が払拭されない状況で推移しました。

当社グループの属する業界におきましても、個人消費の伸び悩みや企業の広告宣伝費の削減、企業間競争の更なる激化に伴う受注単価の下落など、厳しい経営環境が継続しました。

こうした情勢のもと、当社グループでは印刷需要の集中する首都圏・関西圏における営業活動の強化、既存取引先に対する印刷需要の掘り起こしを図るなど、印刷関連事業の業績確保に努め、売上高は64億8千2百万円(前年同期比1.0%増)となりました。利益につきましては、生産体制の合理化やコスト削減など収益力の向上に努めたことなどにより、営業利益は1億4千1百万円(前年同期比4.7%増)、経常利益は2億3百万円(前年同期比5.8%増)、四半期純利益は1億1千1百万円(前年同期比125.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績につきましては、以下のとおりであります。

#### ① 印刷関連事業

大都市圏における取引先に対する印刷需要の掘り起こしに努める一方、生産体制の合理化やコスト削減など収益力の向上に努めたことなどにより、売上高は42億5千9百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は1億3千6百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

#### ② 洋紙・板紙販売関連事業

長期にわたる印刷需要の落ち込みが続く中、取引先への営業活動を強化したことなどにより、売上高は8億9千5百万円(前年同期比14.5%増)となりました

が、利益率の低下により営業利益は3千3百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

### ③ 出版・広告代理関連事業

景気低迷に伴う企業の広告宣伝費削減の動きが続き、既存メディアとの競争激化に伴う広告収入が減少する厳しい環境下、売上高は7億3百万円(前年同期比2.9%減)、営業損失は2千1百万円(前年同期は3千1百万円の営業損失を計上)となりました。

### ④ 美術館関連事業

セキ美術館では春、夏の常設展を開催しました。当事業は売上高1百万円(前年同期比50.9%減)、営業損失1千6百万円を計上しておりますが、マスコミ取材記事や地域での観光施設紹介、また県内外からのリピーターを含む多数の来館者を通じて当社のイメージ向上につながっており、地域の活性化や地域文化の発展に寄与しているものと考えております。

### ⑤ カタログ販売関連事業

連結子会社の(有)こづつみ倶楽部が扱う郵政関連事業が縮小した影響などにより、売上高は6億2千2百万円(前年同期比19.0%減)、営業利益は1千万円(前年同期比43.2%減)となりました。

## (2) 設備投資の状況

当第2四半期連結累計期間の設備投資の総額は5千2百万円(無形固定資産を含む)であり、前年同期に比べ7千1百万円減少しております。その主なものは、印刷加工設備の更新等であります。

## (3) 資金調達の状況

当第2四半期連結累計期間の設備投資及び運転資金につきましては、全額自己資金をもって充当し、増資、社債発行等による資金調達は行っておりません。

## (4) 対処すべき課題及び個人情報の取り扱い基本方針

当社グループでは、市場構造の変革に機動的かつ柔軟に対応し、経営のより一層の合理化、効率化を推し進め、収益性の高い企業体質を構築することで持続的な成長を確保してまいります。当社は「F S C 認証紙」を取り扱う

ため、紙の加工流通過程での管理認証であるC O C 認証を取得、これに続き地球温暖化防止のための森林認証制度の1つである「P E F C 認証紙」のC O C 認証を取得しました。すべての環境製品に対応できる2つの森林認証を取得したことで、更なる環境への配慮と改善に努めてまいります。これに加え、「J I S Q 1 5 0 0 1 (プライバシーマーク)」に基づく情報化時代の個人情報の適切な保護、お客様から高い評価をいただける品質保証体制の維持、更に「I S O 1 4 0 0 1」に基づく環境保護・環境負荷の低減に向けての活動に努めてまいります。

当社は、印刷情報メディアを基盤とした事業活動の中で、お客様からお預かりした個人情報及び当社が自ら取得した個人情報の重要性を認識して、以下の基本方針を厳守し、適切な保護に努めてまいります。

1. 当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針及びその他の規範を遵守し、個人情報の保護に努めます。
2. 当社は、取り扱う個人情報を厳正な管理の下で蓄積・保管し、当該個人情報の漏えい・滅失又はき損などを防止するため、適切な予防ならびには是正処置を講じます。
3. 当社は、個人情報を直接取得する場合には、その取得目的を明らかにし、同意いただいた以外の目的での利用・提供・開示は行いません。また、目的外の利用が行われないよう適切な保護手段を講じます。
4. 当社は、お客様からお預かりする個人情報に関して、受託の趣旨に従い利用、提供及び開示を行い、受託の趣旨に反した利用、第三者への提供及び開示は行いません。
5. 当社は、個人情報保護に関するマネジメント・システム(J I S Q 1 5 0 0 1)を遵守し、従業員に徹底するほか、これを定期的に見直し継続的改善に努めます。
6. 当社は、個人情報に関する苦情・ご相談・お問い合わせ等の窓口及び責任者を定め、当社の保有する個人情報の開示・訂正・削除・利用停止などの求めがあった場合には、合理的な範囲で速やかに対応いたします。

## (5) 事業等のリスク

当社グループの経営成績、株価及び財務状況等に影響を及ぼす可能性があるリスクには次のようなものがあります。当社グループではリスク発生の可能性を十分認識し、リスク発生を極力回避し、万が一発生した場合には損害を最小限にとどめるべく的確な対応に努めます。なお、文中における将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間末日現在において当社グループが判断したものであります。

当社グループは当社及び連結子会社5社で構成され、印刷関連事業、洋紙・板紙販売関連事業、出版・広告代理関連事業、美術館関連事業、カタログ販売関連事業を主な内容とし、事業活動を展開しております。当社が属しております印刷業界では、近年の経済情勢の低迷による印刷広告需要の減少・経費予算の削減等のため、印刷物発注の偏在化、低価格化が進行しており、同業者間の受注競争を激化させる要因となっております。当社におきましても、同業他社との競合により厳しい受注競争状態が継続しており、受注単価が下落する傾向にあります。原油価格は現状一定の水準で推移しておりますが、原油価格が再び高騰し原材料費が上昇する事態となれば、印刷関連事業における業績に影響を及ぼす可能性があります。当社では徹底した品質管理のもとで製品の製造を行っておりますが、人的要因による製造工程上の不備などにより製品の欠陥などが生じた場合には、損害の求償やそれに伴う業績の低下などにより、印刷関連事業における業績に影響を及ぼす可能性があります。洋紙流通業界は製紙メーカー系販売店と、製紙メーカーが指定する一次代理店及び二次代理店で構成されており、当社は二次代理店に該当します。当業界の商習慣上、製紙メーカーと代理店の取引は原則として一県一社となっておりますが、当該習慣は崩れつつあり、今後競争が激化する可能性があります。また、原油価格の高騰に伴い印刷用紙の仕入価格が上昇する事態となれば、洋紙・板紙販売関連事業における業績に影響を及ぼす可能性があります。

当社は平成9年1月に企業イメージを高めるとともに、地域文化の向上及び地元観光産業の活性化に伴う印刷需要創造を目的として、愛媛県松山市の道後温泉地区にセキ美術館を開館しました。同美術館の運営は、連結

子会社の関興産(株)に委託しております。美術館関連事業における業績は、每期営業損失を計上しておりますが、企業イメージの浸透による受注促進、地域文化への貢献、地元観光産業の活性化に伴う印刷需要創造のため必要不可欠の事業と判断しております。なお、第2四半期連結累計期間における美術館関連事業に対する投資額は1,142千円であり、同事業に対する今後の投資方針につきましては、当社グループの業績を勘案の上、展示対象となる絵画等の収蔵品の充実を図ってまいります。

当社では、個人情報を含む顧客のデータベースを取り扱う際の運用につきましては、JIS Q 15001（プライバシーマーク）の認定を受け、個人情報保護方針に則り、個人情報の適切な保護に努めておりますが、何らかの要因により個人情報が流出した場合には、損害の求償や信用低下等により当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。また、製造設備等の主要設備には防火、耐震面での施策を施しておりますが、災害発生時には電力等の動力源の供給停止、原材料の搬入遅延等により生産体制に重要な影響が生じることが想定され、その場合には当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

株主の皆様におかれましても、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## (6) 企業集団及び当社の財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	6,482,496	6,419,565	13,380,381
営業利益	141,877	135,550	422,399
経常利益	203,947	192,800	511,810
四半期(当期)純利益	111,914	49,602	114,604
1株当たり四半期(当期)純利益	26.75	11.86	27.40
純資産	11,359,104	11,318,036	11,412,248
1株当たり純資産	2,658.69	2,647.71	2,670.75
総資産	13,786,889	13,681,301	14,147,144

### ② 当社の財産及び損益の状況

区 分	当第2四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前 期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	4,914,236	4,857,919	9,757,962
営業利益	143,271	106,140	316,774
経常利益	216,119	162,720	402,885
四半期(当期)純利益	130,108	56,655	176,438
1株当たり四半期(当期)純利益	31.10	13.54	42.18
純資産	10,196,835	10,088,858	10,228,987
1株当たり純資産	2,437.55	2,411.69	2,445.18
総資産	12,163,832	12,041,427	12,421,481

## (7) 重要な親会社及び子会社の状況 (平成22年9月30日現在)

### ① 親会社との関係

当社には親会社はありませんので、該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

会 社 名	資本金	議決権比率	主要な事業内容
株式会社エス・ピー・シー	20,000千円	81.0%	出版事業・広告代理業
有限会社こづつみ倶楽部	3,000千円	100.0%	カタログ通信販売事業
コープ印刷株式会社	10,000千円	80.0%	印刷物販売業
関興産株式会社	10,000千円	100.0%	美術館運営管理受託業
メディアプレス瀬戸内株式会社	50,000千円	65.0%	新聞印刷事業の業務受託

### ③ 企業結合の成果

連結対象子会社は、上記②重要な子会社の状況に記載した5社であります。当第2四半期連結累計期間の売上高は6,482,496千円(前年同期比1.0%増)、営業利益は141,877千円(前年同期比4.7%増)、経常利益は203,947千円(前年同期比5.8%増)、四半期純利益は111,914千円(前年同期比125.6%増)となりました。

## (8) 主要な事業内容 (平成22年9月30日現在)

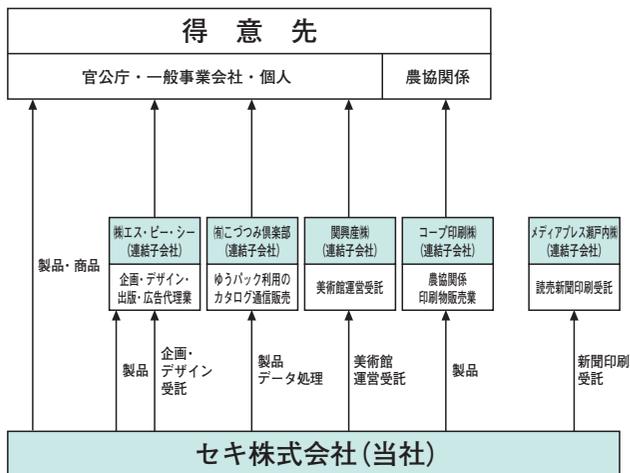
当社グループは、当社及び連結子会社5社で構成され、印刷関連事業、洋紙・板紙販売関連事業、出版・広告代理関連事業、美術館関連事業、カタログ販売関連事業を主な内容とし、事業活動を展開しております。

当社グループの事業に係わる当社及び連結子会社の位置づけは次のとおりであります。

- ① 印刷関連事業部門  
出版印刷物、商業印刷物、紙器加工品について当社が企画・製造・販売するほか、製造工程のうち、前工程のデザインなどを(株)エス・ピー・シーが行っております。なお、農協関係の得意先については、コープ印刷(株)が販売窓口となり、販売しております。また、メディアプレス瀬戸内(株)は(株)読売新聞大阪本社より、中・四国地区の新聞印刷を受託しております。
- ② 洋紙・板紙販売関連事業部門  
洋紙、板紙を当社が仕入・在庫販売しております。

- ③ 出版・広告代理  
関連事業部門 (株)エス・ピー・シーが企画・編集した書籍、雑誌などを当社が製造し、(株)エス・ピー・シーが販売しております。また(株)エス・ピー・シーは発行する出版物に関連してイベント開催、広告掲載などの広告代理業を営んでおります。また、地域ポータルサイト「デジタルシティえひめ」の運営を基に出版メディア、携帯電話とのメディアミックス事業の展開を行っております。
- ④ 美術館関連事業  
部門 当社の企業イメージ向上と地域活性化のため、そしてそれらを通して当社広告宣伝活動とするため、当社が美術館を設置し、その運営管理を関興産(株)が行っております。
- ⑤ カタログ販売  
関連事業部門 当社では事業所向けオフィス関連用品のカタログ商品販売を行っております。また、(有)こづつみ倶楽部では「ゆうパック」を利用した通信販売による地域特産品・贈答品など各種物品のカタログ販売を行っております。

以上に述べた当社グループの事業の系統図は、次のとおりであります。



(9) 主要な拠点等 (平成22年 9月30日現在)

① 印刷関連事業部門

セキ株式会社

- (松山本社) 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
- (東京本社) 東京都渋谷区代々木三丁目2番8号
- (支店) 大阪支店 (大阪府大阪市淀川区)
- 高松支店 (香川県高松市)
- (営業所) 名古屋営業所 (愛知県名古屋市西区)
- (工場) 伊予工場 (愛媛県伊予市)

コープ印刷株式会社

- (本社) 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
- メディアプレス瀬戸内株式会社
- (本社) 広島県尾道市美ノ郷町本郷1番地77
- (工場) 尾道工場 (広島県尾道市)
- 坂出工場 (香川県坂出市)

② 洋紙・板紙販売関連事業部門

セキ株式会社

- (本社) 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
- (営業所) 高知営業所 (高知県高知市)

③ 出版・広告代理関連事業部門

株式会社エス・ピー・シー

- (本社) 愛媛県松山市湊町七丁目3番地5
- (営業所) 高松営業所 (香川県高松市)

④ 美術館関連事業部門

セキ株式会社

- (セキ美術館) 愛媛県松山市道後喜多町4番42号
- 関興産株式会社
- (本社) 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1

⑤ カタログ販売関連事業部門

セキ株式会社

- (本社) 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
- 有限会社こづつみ倶楽部
- (本社) 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1

#### (10) 従業員の状況（平成22年9月30日現在）

事業部門	従業員数	前期末比増減
印刷関連事業部門	303名	△2名
洋紙・板紙販売関連事業部門	24名	-
出版・広告代理関連事業部門	105名	△2名
美術館関連事業部門	3名	-
カタログ販売関連事業部門	7名	△1名
全社（共通）	20名	-
合計	462名	△5名

(注) 1. 従業員数は就業人員数であります。  
2. 当社の従業員の状況は次の通りであり、従業員数は就業人員数であります。

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
296名	△3名	40.6歳	17.6年

#### (11) 主要な借入先（平成22年9月30日現在）

該当事項はありません。

#### (12) その他企業集団の現況に関する重要な事項

（平成22年9月30日現在）

該当事項はありません。

## 2 会社の株式に関する事項（平成22年9月30日現在）

### (1) 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
	(株)	%
関 宏 成	545,600	13.04
関 啓 三	507,400	12.13
有限会社宏栄興産	480,200	11.48
株式会社伊予銀行	208,000	4.97
セキ従業員持株会	204,800	4.90
財団法人関奉仕財団	164,600	3.93
株式会社愛媛銀行	164,500	3.93
谷 口 定 子	108,700	2.60
関 宏 康	99,400	2.38
児 玉 恭 子	96,000	2.29

(注) 持株比率は、自己株式(324,777株)を控除して計算しております。

### (2) その他株式に関する重要な事項

- ① 発行可能株式総数 16,000,000株
- ② 発行済株式の総数 4,508,000株
- ③ 株主数 418名

## 3 会社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4 会社役員に関する事項

### 取締役及び監査役の状況（平成22年9月30日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
※取締役社長	関 啓三	(有)宏栄興産代表取締役社長 コープ印刷(株)代表取締役社長 関興産(株)代表取締役社長 (有)こづつみ倶楽部代表取締役社長 (株)エス・ビー・シー代表取締役 メディアプレス瀬戸内(株)代表取締役社長
※取締役副社長	土居 尉二	
常務取締役	和氣 司朗	松山本社営業本部長
取締役相談役	関 宏成	
取締役相談役	関 宏康	(株)エス・ビー・シー取締役相談役 (株)えひめりびング新聞社代表取締役会長
取 締 役	小杉 英則	松山本社営業本部長
取 締 役	西上 慎司	東京本社営業本部長
取 締 役	関 宏孝	事業開発室長
取 締 役	岡田 克志	(株)エス・ビー・シー代表取締役社長 (株)タウン情報全国ネットワーク取締役
監査役(常勤)	梶野 博文	
監査役	宮内 省三	
監査役	成松 勲	税理士

(注) 1. ※印は代表取締役であります。  
2. 監査役宮内省三及び成松 勲は社外監査役であります。  
3. 当社は、監査役宮内省三を独立役員に指定しております。  
4. 当社は、執行役員制度を導入しております。平成22年9月30日現在の執行役員は次のとおりであります。

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
執行役員	大 峰 博 之	西日本営業本部長
執行役員	藤 原 武 彦	メディアプレス瀬戸内(株)出向 同社常務取締役尾道工場長
執行役員	松 友 孝 之	経営管理本部長



# 財務状況（連結）

## 《連結貸借対照表》

(単位：千円)

科 目	金 額			科 目	金 額		
	当第2四半期 連結会計期末 平成22年 9月30日現在	前第2四半期 連結会計期末 平成21年 9月30日現在	前 連 結 会 計 年 度 末 (平成21年 3月31日現在)		当第2四半期 連結会計期末 平成22年 9月30日現在	前第2四半期 連結会計期末 平成21年 9月30日現在	前 連 結 会 計 年 度 末 (平成21年 3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	7,064,834	6,144,104	7,024,951	流動負債	1,853,160	1,799,474	2,094,905
現金及び預金	3,513,627	2,482,898	3,476,256	支払手形及び買掛金	1,335,851	1,384,899	1,393,251
受取手形及び売掛金	2,717,061	2,886,066	2,618,689	未払法人税等	100,250	60,232	205,136
有価証券	179,731	127,902	102,780	賞与引当金	75,751	95,906	82,106
商品及び製品	256,385	263,823	198,544	繰延税金負債	-	-	170
仕掛品	248,927	266,272	218,066	その他流動負債	341,306	258,436	414,241
原材料及び貯蔵品	73,957	67,379	72,283	固定負債	574,624	563,790	639,990
繰延税金資産	49,824	51,332	52,470	繰延税金負債	98,585	122,391	179,752
未収還付法人税等	222	637	3,257	退職給付引当金	285,153	251,418	271,675
その他流動資産	54,703	46,359	324,559	役員退職慰労金	178,088	178,538	178,538
貸倒引当金	△29,606	△48,567	△41,957	資産除去債務	4,190	-	-
固定資産	6,722,054	7,537,196	7,122,193	その他固定負債	8,606	11,441	10,024
有形固定資産	4,303,882	4,516,720	4,393,688	負債合計	2,427,785	2,363,264	2,734,896
建物及び構築物	1,139,301	1,209,650	1,164,749	(純資産の部)			
機械装置及び運搬具	702,343	825,593	761,188	株主資本	11,153,054	11,059,963	11,083,131
工具器具備品	1,179,922	1,189,337	1,185,295	資本金	1,201,700	1,201,700	1,201,700
土地	1,282,315	1,282,315	1,282,315	資本剰余金	1,333,500	1,333,500	1,333,500
建設仮勘定	-	9,823	140	利益剰余金	9,093,045	8,999,795	9,022,964
無形固定資産	62,347	39,816	62,603	自己株式	△475,191	△475,032	△475,032
投資その他の資産	2,355,824	2,980,659	2,665,901	評価・換算差額等	△31,169	16,246	89,465
投資有価証券	1,895,809	2,522,398	2,204,124	その他有価証券 評価差額金	△31,169	16,246	89,465
長期貸付金	80,239	81,956	80,765	少数株主持分	237,219	241,826	239,651
繰延税金資産	3,574	1,029	3,271	純資産合計	11,359,104	11,318,036	11,412,248
その他投資	394,020	462,296	394,814	負債及び純資産合計	13,786,889	13,681,301	14,147,144
貸倒引当金	△17,818	△87,020	△17,074				
資産合計	13,786,889	13,681,301	14,147,144				

## 《連結損益計算書》

(単位：千円)

科 目	金 額		
	当第2四半期 連結会計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 連結会計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前連結会計年度 (平成21年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売 上 高	6,482,496	6,419,565	13,380,381
売 上 原 価	4,982,477	4,942,320	10,273,032
売 上 総 利 益	1,500,018	1,477,244	3,107,349
販売費及び一般管理費	1,358,140	1,341,694	2,684,950
営 業 利 益	141,877	135,550	422,399
営 業 外 収 益	64,862	60,932	111,236
受 取 利 息	10,273	8,872	20,141
受 取 配 当 金	12,944	14,322	17,824
物 品 売 却 収 入	19,205	14,653	29,855
仕 入 割 引	7,197	6,641	12,290
投資事業組合持分益	1,081	-	-
そ の 他	14,159	16,443	31,123
営 業 外 費 用	2,793	3,682	21,824
支 払 利 息	222	222	416
売 上 割 引	931	1,077	2,145
投資事業組合持分損	-	722	15,890
貸 貸 料 原 価	1,565	1,540	2,833
そ の 他	74	119	538
経 常 利 益	203,947	192,800	511,810
特 別 利 益	14,066	4,981	74,485
貸倒引当金戻入益	11,607	-	2,082
固定資産売却益	-	4,258	4,258
投資有価証券売却益	2,459	723	68,144
特 別 損 失	4,426	40,832	206,622
固定資産売却損	-	12,915	12,915
固定資産除却損	16	4,353	18,289
減 損 損 失	-	-	26,949
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,118	-	-
投資有価証券売却損	-	1,435	3,788
投資有価証券評価損	1,291	22,127	144,679
税金等調整前四半期(当期)純利益	213,586	156,949	379,673
法人税、住民税及び事業税	95,550	54,297	207,748
法人税等調整額	2,990	46,491	55,527
少数株主利益	3,131	6,558	1,793
四半期(当期)純利益	111,914	49,602	114,604



# 財務状況（単体）

## 《第2四半期連結株主資本等変動計算書》

（単位：千円）

当第2四半期連結累計期間 （平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで）	株 主 資 本					評価・換算 差額等 （ <small>その他有価証券 評価差額金</small> ）	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成22年3月31日残高	1,201,700	1,333,500	9,022,964	△475,032	11,083,131	89,465	239,651	11,412,248
当第2四半期連結累計期間中の変動額								
剰余金の配当			△41,833		△41,833			△41,833
四半期純利益			111,914		111,914			111,914
自己株式の取得				△158	△158			△158
株主資本以外の項目の当第2四半期 連結累計期間中の変動額（純額）					-	△120,634	△2,432	△123,067
当第2四半期連結累計 期間中の変動額合計	-	-	70,080	△158	69,922	△120,634	△2,432	△53,144
平成22年9月30日残高	1,201,700	1,333,500	9,093,045	△475,191	11,153,054	△31,169	237,219	11,359,104

## 《第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書》

（単位：千円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 （平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで）	前第2四半期連結累計期間 （平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで）	前連結会計年度 （平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで）
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△103,983	250,514	1,147,015
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	100,187	△567,985	△322,952
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,819	△43,579	△86,762
IV 現金及び現金同等物の増減額	△52,615	△361,051	737,300
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,088,146	2,350,846	2,350,846
VI 現金及び現金同等物の 第2四半期末（期末）残高	3,035,530	1,989,794	3,088,146

## 《貸借対照表》

（単位：千円）

科 目	金 額		
	当第2四半期会計期間末 （平成22年9月30日現在）	前第2四半期会計期間末 （平成21年9月30日現在）	前 期 （平成22年3月31日現在）
<b>（資産の部）</b>			
<b>流動資産</b>	<b>5,684,467</b>	<b>4,971,778</b>	<b>5,584,068</b>
現金及び預金	2,557,385	1,630,054	2,450,239
受取手形	724,045	733,900	509,363
売掛金	1,664,977	1,860,155	1,725,464
有価証券	135,813	127,902	102,780
商品及び製品	246,124	253,349	191,167
仕掛品	239,709	258,372	212,536
原材料及び貯蔵品	45,397	40,516	44,584
繰延税金資産	40,853	39,383	40,930
その他流動資産	40,588	44,210	320,486
貸倒引当金	△10,428	△16,067	△13,485
<b>固定資産</b>	<b>6,479,364</b>	<b>7,069,648</b>	<b>6,837,413</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,291,257</b>	<b>4,496,701</b>	<b>4,380,360</b>
建物	1,118,420	1,180,963	1,141,505
構築物	20,662	25,989	23,000
機械及び装置	693,859	810,555	750,201
車両運搬具	8,164	14,350	10,560
工具器具備品	1,167,835	1,172,705	1,172,636
土地	1,282,315	1,282,315	1,282,315
建設仮勘定	-	9,823	140
<b>無形固定資産</b>	<b>62,077</b>	<b>20,716</b>	<b>62,333</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,126,029</b>	<b>2,552,230</b>	<b>2,394,719</b>
投資有価証券	1,707,512	2,130,064	1,972,727
関係会社株式	70,400	70,400	70,400
出資金	574	574	574
投資不動産	72,892	73,588	73,234
保険積立金	123,769	123,769	123,769
会 員 権	62,743	131,767	62,743
その他投資	91,384	96,112	93,290
貸倒引当金	△3,246	△74,044	△2,020
<b>資 産 合 計</b>	<b>12,163,832</b>	<b>12,041,427</b>	<b>12,421,481</b>

## 《貸借対照表》

(単位：千円)

科 目	金 額		
	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	1,467,654	1,456,117	1,627,355
支払手形	507,648	473,563	407,118
買掛金	666,866	733,498	798,502
未払金	74,038	70,811	123,954
未払法人税等	91,632	32,591	151,436
未払消費税等	13,450	12,006	12,862
賞与引当金	59,597	79,520	66,643
その他流動負債	54,420	54,126	66,837
固定負債	499,342	496,450	565,138
繰延税金負債	95,102	122,391	176,577
退職給付引当金	277,858	251,418	265,919
未払役員退職慰労金	119,781	120,231	120,231
資産除去債務	4,190	-	-
その他固定負債	2,409	2,409	2,409
負債合計	1,966,996	1,952,568	2,192,494
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	10,231,228	10,065,161	10,143,111
資本金	1,201,700	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	8,171,219	8,004,994	8,082,943
自己株式	△475,191	△475,032	△475,032
評価・換算差額等	△34,392	23,697	85,876
その他有価証券評価差額金	△34,392	23,697	85,876
純資産合計	10,196,835	10,088,858	10,228,987
負債及び純資産合計	12,163,832	12,041,427	12,421,481

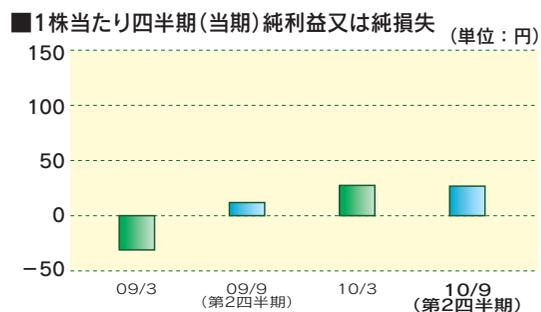
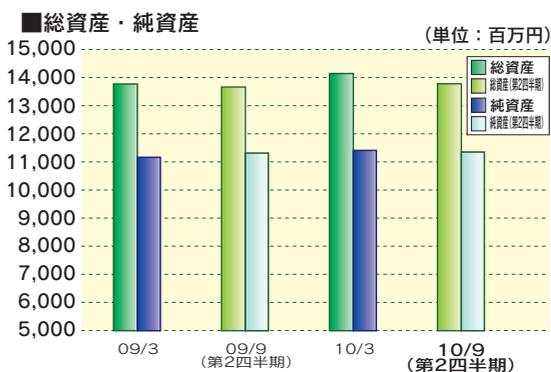
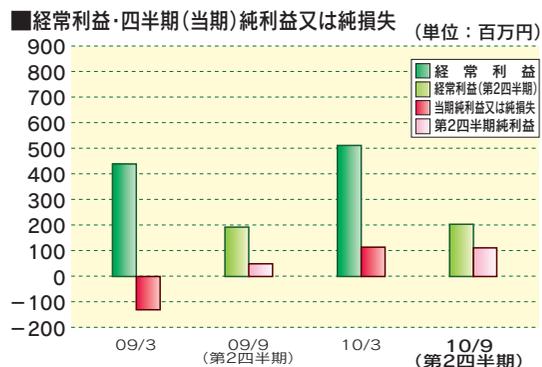
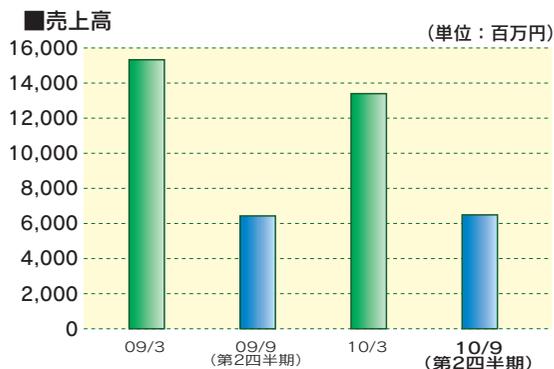
## 《損益計算書》

(単位：千円)

科 目	金 額		
	当第2四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前 期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	4,914,236	4,857,919	9,757,962
売上原価	3,942,831	3,915,929	7,789,730
売上総利益	971,404	941,989	1,968,231
販売費及び一般管理費	828,133	835,849	1,651,456
営業利益	143,271	106,140	316,774
営業外収益	75,641	60,262	107,935
受取利息	8,805	4,436	11,400
受取配当金	23,607	15,574	19,075
物品売却収入	14,276	10,983	21,921
仕入割引	7,197	6,641	12,290
投資事業組合持分益	1,081	-	-
その他	20,672	22,626	43,247
営業外費用	2,793	3,682	21,824
支払利息	222	222	416
売上割引	931	1,077	2,145
投資事業組合持分損	-	722	15,890
賃貸料原価	1,565	1,540	2,833
その他	74	119	538
経常利益	216,119	162,720	402,885
特別利益	4,289	4,981	69,493
貸倒引当金戻入益	1,830	-	2,086
固定資産売却益	-	4,258	4,258
投資有価証券売却益	2,459	723	63,148
特別損失	3,135	34,551	90,699
固定資産売却損	-	12,915	12,915
固定資産除却損	16	1,073	14,846
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,118	-	-
投資有価証券売却損	-	1,435	3,788
投資有価証券評価損	-	19,126	59,147
税引前四半期(当期)純利益	217,273	133,150	381,679
法人税、住民税及び事業税	86,903	26,207	144,254
法人税等調整額	261	50,287	60,986
四半期(当期)純利益	130,108	56,655	176,438



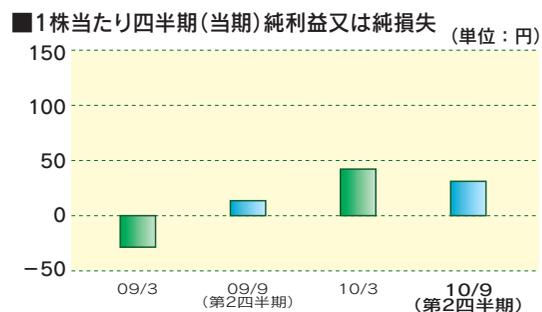
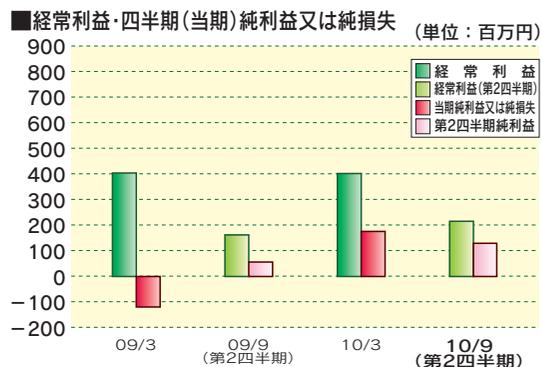
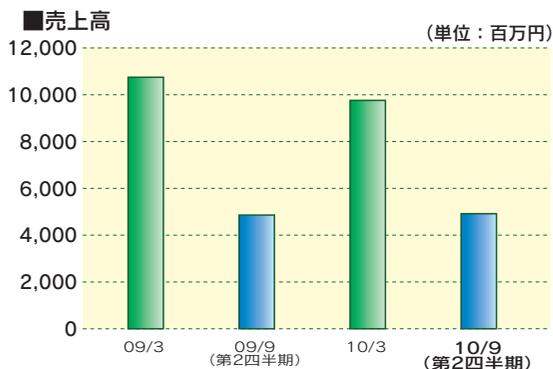
# 業績の推移 (連結)



《年度データ》	09/3	09/9(第2四半期)	10/3	10/9(第2四半期)
売上高 (千円)	15,303,421	6,419,565	13,380,381	6,482,496
営業利益 (千円)	372,300	135,550	422,399	141,877
経常利益 (千円)	439,390	192,800	511,810	203,947
四半期(当期)純利益又は純損失 (千円)	△129,871	49,602	114,604	111,914
《期末データ》				
総資産 (千円)	13,790,416	13,681,301	14,147,144	13,786,889
純資産 (千円)	11,167,729	11,318,036	11,412,248	11,359,104
《1株当たり指標》				
1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失 (円)	△31.04	11.86	27.40	26.75
1株当たり純資産 (円)	2,614.26	2,647.71	2,670.75	2,658.69



# 業績の推移 (単体)



《年度データ》	09/3	09/9(第2四半期)	10/3	10/9(第2四半期)
売上高 (千円)	10,745,984	4,857,919	9,757,962	4,914,236
営業利益 (千円)	260,029	106,140	316,774	143,271
経常利益 (千円)	404,943	162,720	402,885	216,119
四半期(当期)純利益又は純損失 (千円)	△119,341	56,655	176,438	130,108
《期末データ》				
総資産 (千円)	11,945,535	12,041,427	12,421,481	12,163,832
純資産 (千円)	9,959,293	10,088,858	10,228,987	10,196,835
発行済株式総数 (株)	4,508,000	4,508,000	4,508,000	4,508,000
《1株当たり指標》				
1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失 (円)	△28.53	13.54	42.18	31.10
1株当たり純資産 (円)	2,380.71	2,411.69	2,445.18	2,437.55
1株当たり四半期(年間)配当金 (円)	22	10	20	10

## ● Web関連事業の動向

ペット情報誌「Collar」が発刊1周年を迎えました。2011年より東京でのCollar発刊を見据え、首都圏での先行サービスとしてペットの飼い主にターゲットを絞ったクーポン共同購入サイト「PETPON（ペットボン）」<http://www.petpon.jp/>）を開設しました。

今後、連結子会社の㈱エス・ピー・シーと共同で、愛媛県版のクーポン販売サイトを開設する予定です。



ペットの情報誌「Collar」



クーポン共同購入サイト「PETPON」

## ● セキ美術館特別企画展

### 「古茂田家五人 美と表現の世界」開催

セキ美術館では平成22年度の特別企画展として、10月20日から11月28日までの会期で「古茂田家五人 美と表現の世界」を開催しました。松山出身の画家古茂田公雄氏ならびに弟の守介氏は、戦前から戦後にかけて日本の美術界に大きな足跡を残しました。同展は、公雄氏・守介氏の兄弟に守介氏夫人で画家の美津子氏、守介氏の長女杏子氏、さらに公雄氏の長男不二氏が加わった古茂田家の作家五人展とし、東京の目黒区美術館などのご協力を得て、初公開の作品を含め約90点を展示しました。



## ● 出版・広告代理関連事業の動向

### ・(株)エス・ピー・シーについて

連結子会社の(株)エス・ピー・シーでは出版不況で書籍販売の不振が続く中、特集の充実や表紙の刷新などにより、会社設立時より30年以上発行している地域情報誌「タウン情報まつやま」や不動産情報誌「住まい情報」など基幹となる雑誌は好調な売れ行きとなっております。また、1,000人からのアンケートに基づき掲載店舗を決定、ラーメン評論家の石山勇人氏監修の「これが愛媛の噂のラーメン」、キレイでいたい、美しくなりたいという女性の想いを叶える愛媛のビューティー・バイブル「凜」を発行。

地域活性化事業では人材採用事業に加え、就職支援セミナー「厚生労働省委託の緊急人材育成事業SPCキャリアアカレッジ」を開講するなど、人材教育分野へ進出。また、愛媛県の水産物消費拡大事業として、楽天市場にインターネットショッピングサイト「新鮮産直 愛媛のうた」をオープン。引き続き、雇用支援や特産物販売など行政事業の新たな受託を進めてまいります。

インターネット・電子出版関連分野では、本年4月よりスタートした婚活支援サイト「愛媛婚活net」が開始半年で成立100組を突破。また、iPhone・iPad向けのアプリケーション開発事業をスタート。自社出版物の電子書籍化を進めており、観光情報誌「四国旅マガジンGaiJA」のバックナンバーとMOOK4冊を「Apple App Store」で販売中です。他社からの受注も含め、電子書籍のほかにiPhone・iPad専用のアプリケーションの開発を進めており、紙媒体と電子メディア、Webそれぞれの特性を活かしたコンテンツビジネスの拡大を進めてまいります。



凜

タウン情報まつやま

これが愛媛の噂のラーメン



ショッピングサイト「新鮮産直 愛媛のうた」  
http://www.rakuten.ne.jp/gold/ehime-sanchoku/



婚活支援サイト「愛媛婚活net」  
http://www.konkatsu-net.jp/



iPhone・iPad向け電子出版 四国旅マガジンGaiJA

## 株主ご優待制度

毎年3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記録された株主様に対して、次のような「セキ美術館」ご招待券並びに自社製品を贈呈いたします。

### ① 「セキ美術館」ご招待券

対象：3月末日及び9月末日の株主様  
贈呈時期：3月末日現在の株主様 6月下旬  
：9月末日現在の株主様 12月下旬

持株数	ご招待券贈呈枚数
100株以上	2枚
3,000株以上	4枚

### ② 自社オリジナルティッシュペーパー 1ケース(20箱)

対象：3月末日現在、1,000株以上保有の株主様  
贈呈時期：7月上旬

### ③ 自社カレンダー 1部

対象：9月末日現在、100株以上保有の株主様  
贈呈時期：11月下旬

## 株主優待品

①



(セキ美術館 ご招待券)

②



(自社 オリジナルティッシュペーパー)

③



(自社 カレンダー)

## 会社の概要

(平成22年9月30日現在)

商号	セキ株式会社	
本社	〒790-8866 愛媛県松山市湊町七丁目7番地1	
ホームページ	<a href="http://www.seki.co.jp">http://www.seki.co.jp</a>	
e-mail	ir@mail.seki.co.jp	
設立	昭和24年3月31日	
事業内容	印刷物及び紙製品の製造・販売、情報加工サービス	
資本金	1,201,700千円	
従業員数	296名	
営業拠点及び工場		
松山本社	愛媛県松山市湊町七丁目7番地1	☎089-945-0111
東京本社	東京都渋谷区代々木三丁目2番8号	☎03-3377-1230
大阪支店	大阪府大阪市淀川区西中島四丁目3番22号 新大阪長谷ビル205号	☎06-6307-0001
高松支店	香川県高松市番町三丁目3番17号 第一讚機ビル5階	☎087-831-1777
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区押切一丁目9番6号 ロイヤルシティ押切1-A	☎052-531-1301
高知営業所	高知県高知市神田969番地1	☎088-832-0274
伊予工場	愛媛県伊予市下三谷290番地1	☎089-945-0111
セキ美術館	愛媛県松山市道後喜多町4番42号	☎089-946-5678

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に開催
基準日	毎年3月31日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主確定日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
	当社のホームページ ( <a href="http://www.seki.co.jp">http://www.seki.co.jp</a> ) に掲載
公告の方法	100株
元株式数	大阪証券取引所 (ジャスダック市場)
上場証券取引所	7857 (ジャスダック スタンダード)
証券銘柄コード	住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	(電話照会先) (インターネット) ホームページURL
	☎0120-176-417 <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/ service/daiko/index.html</a>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 【株式に関する住所変更等のお届出先およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

